(((着信音)))

「合格率は15%前後、大学教授が受験するほど難度は高いが、知名度が低いばかりに資格を生かしきれていなかった」と全国に先駆けて組織化、まずは役割のPRに力を入れたいとする。

産業資材メーカーなどからも参加。会員十二人、法人の賛助会員は五社を数えた。「幅広い業種の顔ぶれで技術向上の面でも刺激になる。広い知識を蓄積できれば将来的に建築物の公正な診断ができるようになる」と組織の発展に期待する。

「構造物を造っては壊す時代から、いかに安全性を保ちながら寿命を延ばすかに変わった。社会のニーズにも業界としてこたえていきたい」と抱負を語った。

県コンクリート診断士会会長
石川　裕夏氏